第３０１３回 例会　令和８年 10月 ８日(木)

出 席 委 員 会 委 員 長	神谷　正康
会　員　総　数	１９名
本 日 の 出席者（免除者）	１０名（２名）
本 日 の 出 席 率	５５．５％

会 長 あ い さ つ

会長　渡邉　徹 君



本日のスピーカーは、西尾市議会議員の神田たかひろ様です。神田さんは、昨年の市会議員選挙で４２６９票でトップ当選を果たされました。私自身は他陣営を応援していたのですが、結果を見て、「これはすごいな」と感銘を受けましたし、SNS の発信の力の大きさも実感いたしました。時代ですかね。

また、神田さんの所属されている政党の神谷宗弊さんについても、私個人としては共感する部分が多く、YouTube などを通じてその考え方や物事の捉え方に注目しています。発言内容によってはメディアで批判を受ける場面も見受けられますが、真っ直ぐで本質的な意見を述べられていると感じており、個人的には応援しています。

本日は神田さんより「生まれ育った街の価値に気づいた訳　それをどう発信し、活かして行けるか！」についてお話しいただきます。この西尾市にもまだ多くの価値や魅力が眠っていると思いますので、ぜひ本日の学びを通じて、この街のさらなる発展に繋げていただければと思います。よろしくお願いいたします。

今 週 の ス マ イ ル

親睦委員長　尾﨑三枝子 君

渡邉　徹君	神田市議、本日はよろしくお願いします。
藤井知明君	神田様、ようこそ西尾一色 RC へ。本日卓話よろしくお願いします。
神谷　林君	神田様の卓話楽しみに聞かせてもらいます。
早川比呂太君	神田たかひろ様、本日の卓話楽しみにしております。
山下民義君	神田市議、本日の卓話楽しみです。
尾﨑三枝子君	神田市議、本日よろしくお願い致します。

6件　１１，０００

本 日 の 卓 話

「生まれ育った町の価値に気付いた訳　それをどう発信し、活かして行けるか！」

西尾市議会議員　神田たかひろ 様



私は戦後から約 80 年続く魚屋の 4 代目として生まれ、赤ちゃんの頃から祖父母や両親が朝から晩まで一致団結して働く環境の中で育ちました。小学校 4・5 年生の夏休みには朝 4 時に起こされ、競り（競り市）に連れて行かれて魚の箱詰めなどを手伝っていました。競り会場に落ちていたサヨリやカレイなどを拾って持ち帰ると、それがそのままその日の家庭の食卓に並ぶという日常でした。

中学時代は野球に打ち込んでいましたが、膝を怪我して走れなくなり、ジャンボ尾崎選手に憧れ、ゴルフの道を志すようになりました。両親や祖母に直訴した際、特に祖母からは「魚屋をやっとれ」と猛反対を受けましたが、従兄のおじさんが「一回やらせてやれ」と助け船を出して先生を紹介してくれたことで、20 歳で兵庫県のゴルフ場へ渡り研修生となりました。名古屋の柳橋市場で実家の手伝いをしながら練習を重ね、QT（クオリファイングトーナメント）の資格を取得して、マンデートーナメントなどのツアー予選や大会に 5 年間ほど出場しました。その後、祖母が倒れて実家の魚屋の存続が危ぶまれる事態となり、プロゴルファーの夢を諦めて家業へ戻る決断をしました。ゴルフへの思いを完全には捨てきれなかったため、愛知産業大学のゴルフ部コーチを兼任しながら家業を手伝う形で実家の魚屋へ復帰しました。

今でも一番好きな食べ物は、小中学校から帰宅するとおばあちゃんが焼いてくれた「地元近海で取れる魚の干物」であり、家業の魚屋と地元の食文化が幼少期の原体験となっています。

昔の店舗は隣のスーパーに行く途中の近所の奥様方が立ち寄り、魚を決めてから買い物を済ませるような活気あふれる場所でした。世間話や温かい視線に囲まれて育つ中で、「自分は将来魚屋になるんだ」という意識が自然と育まれました。

時代の変化とともに「家庭で魚料理をする人」が減少し、客足が落ちたことや祖母の体調不良などをきっかけに従来の小売店舗を一度閉めざるを得なくなりました。

それから卸売りや一次加工へ舵を切り、単に切身にするだけでなくパン粉付けをするなど、おうちで手軽にお弁当や夕食を作れるような女性・主婦目線の工夫を取り入れました。マルシェへの出店や Web 発信（ネット販売）など、新たな形で魚の魅力を伝える挑戦を

始めています。地元（西尾・三河）の海で獲れた魚と地元の調味料を使い、地域の食を満喫できるお店「メールブリヤン」（旧信用金庫の建物を活用）を開業し、地産地消と食の魅力を届けています。

人生で最後に「もう一度あれが食べたい」と思い出されるのは、昔食べた母親の味や思い出の食であり、「最後は人間、食に行き着く」という食の強い力を実感しています。

静岡の有名なサスエ前田氏（NHK『プロフェッショナル』出演等）との出会いを通じて、「魚という物自体に価値があるのではなく、それを獲る人・繋ぐ人・料理する人・食べる人という『人と人との信頼関係や時間』にこそ価値がある」という食の本質を学びました。豊川・矢作川・境川の 3 つの川が注ぎ込む三河湾の豊かな海が育む地魚は非常に貴重であり、人間による埋め立てや環境破壊から自然資源を守り、子供たちや後世に豊かな食文化を引き継ぐことは重要です。地元の東幡豆小学校での「生き物体験教室（潮干狩りや観察）」などを通じて、自然の恵みと生命循環の大切さを子どもたちへ伝える活動に尽力しています。

船に付着した貝や魚のアラを海に戻せず陸上で焼却処分しなければならない現行の「海洋汚染防止法」が、海本来の食物連鎖や生物循環を阻んでおり、この課題解決を目指していきます。ここにある当たり前の風景や環境がどこにでもあるものではなく、人がつくれるものではない。だからこそ、守っていかなければならない、食を通して、地域の自然と文化を感じる。その営みを、これからも続けていきたいと思っています。



１０月のお祝い

★会員誕生祝
　笠井保志 君
★配偶者誕生祝
　早川比呂太 君　夫人　永里子さん
　神谷　林 君　　夫人　初　美さん
★結婚記念祝
　笠井保志 君　牧野美恵 君
★入会祝
　神谷　林 君
★創業記念日
　山下民義 君　早川博也 君
★出席 100%家族協力賞
　神谷　林 君

今 週 の 献 立

【 福長 】



ゴ ル フ 部 よ り

9 月 30 日(水)
高浜・西尾 KIRARA・西尾一色 RC 合同ゴルフコンペ
みとゴルフ倶楽部



